

東和知財研究所の最近の活動について



東和知的財産研究所 所長
鈴木 公明

2009年3月の設立以来、当研究所はその設立の理念に沿って、高度知財マネジメントに資するべく、書籍・論文の執筆、学会発表、セミナー・講演等の活動を行ってまいりました。

2010年2月には、当研究所理事長津野孝と鈴木との共著により、知的財産実務シリーズ「企業統合と知的財産」（経済産業調査会）を刊行し、関係各所より様々な反響をいただいているところです。

また、設立の理念を実現する一環として募集する「東和知的財産研究所懸賞論文」は、知識社会への移行に対応すべく、研究者の自由な発想を育て、研究成果を広く普及させるために、特に若い研究者に発表の場を提供するものと位置付けておりますが、第二回の募集に対して多数の応募をいただき、その審査結果を本号において発表しております（p20・p35 ご参照）。

本号では、さらに、当研究所の母体である東和知国際特許事務所のカウンターパートとなる、世界各地の特許事務所からのご寄稿を掲載しております。各国・各地域から寄せられた最新の情報が、グローバルな観点に基づく高度知財マネジメントの一助となることを願っております。

本研究所では、学際領域において高度知財マネジメントに資する理論と実践とを研究し、その成果を報告するとの基本方針を追求すべく、所員一丸となり、日々邁進しております。

皆様の一層のご支援とご鞭撻をお願い申し上げます。